

『中級へ行こう 日本語の文型と表現 5 5 第 2 版』 教師用ガイド

ご指導になる皆様へ

本教材は、初級テキストでおおむね 300 時間学習し、基本的な初級文法や語彙を習得している学習者が教師の指導の下、1 課を 4～6 時間で学習することを想定しています。この教材をご使用の指導者の皆さまが、授業をする際の一助になればと、教師用ガイドを作成いたしました。本冊と併せてご利用ください。

構成

【第一部 各課の構成と授業の流れ】

1. 各課の構成と特徴（「漢字練習」含む）
2. 本文テーマ
3. 授業の流れ

【第二部 各課の教え方のポイント】

各課の学習項目の参考情報、練習問題の手順や発展活動

【巻末資料】

本文の「ことば」掲載語の既習・未習情報

【第一部 各課の構成と授業の流れ】

1. 各課の構成と特徴

1) 話しましょう

本文の内容についてのウォームアップで、内容理解の手助けになるものです。学習者の頭の中に蓄積されている経験や知識を活用して、イラストについて話す・質問に答える・思考マップを描くなどの作業を通して、本文への流れをスムーズにします。

2) 本文

10～15 行の長さの読み物を読みます。CD（ゆっくりしたスピードとナチュラルスピードの 2 通りの音声を収録）がついています。既習の学習項目、新出の学習項目が複合的に結びついている長めの文もありますので、丁寧に読み進めてください。何度も音読することも効果的です。

3) ことば

「本文」の内容理解に必要なことばを取り上げました。単語の並びは、本文に登場する順番通りになっています。『みんなの日本語初級（第2版）』と、本書の以前の課で学習していない語は別冊の「新出語」に収録し、4か国語の訳（英語・中国語・韓国語・ベトナム語）をつけてあります。ことばの初出位置についての情報は、【巻末資料】をご参照ください。理想的には対訳を使って予習できるとよいでしょう。授業では「本文」の語彙の定着のために、学習者に例文を作らせることも有効です。

4) ことばの練習

「ことば」で取り上げた語を中心に、使い方を確認します。練習問題は6～8問あります。

5) QA

「本文」の内容についての質問に答えます。

6) 学習項目

- ・学習項目の提示と説明：意味や用法が説明してあります。
英語・中国語・韓国語・ベトナム語訳がついています。
- ・接続を確認します。（このレベルであまり使わない接続は載せていません。）
- ・例文で意味、用法を確認します。

7) 学習項目の練習

- ・基本練習：正解が1つのもの。
- ・応用練習：正解が1つではなく自由に答えられるもの。
- ・短作文：決められた学習項目を使い、テーマに沿って書きます。

8) チェックシート

新しい学習項目や「本文」のことば、練習問題に出てくるもの（助詞の使い方や語彙）が理解できているかどうかをチェックします。2択問題、計10問を5分程度で解くものです。その課で扱う学習項目や新出語を網羅しているものではありません。学習の簡易的な振り返り（小テスト）や宿題としてご利用ください。

9) 聴解タスクシート

CDを聞きながら、空欄の部分を記入します。CDはゆっくりしたスピード（1回目）とナチュラルスピード（2回目）の2回録音されていますので、学習者のレベルによって選択できます。表記ミスがないか、教師がチェックします。

10) 作文

各課のテーマに沿って、まとまりのある文章を書きます。表記に注意し、きちんと清書させます。書いた作文を読んで（あるいは暗記して）発表する活動にもつなげられます。

11) 漢字練習

「本文」がルビなしでひととおり読めることを目標にしています。まず、各課のリストで漢字の読みを学び、練習問題を行います。そのあと、ルビなしの本文を読みます。ルビなしの本文には、漢字練習で学習していない新出漢字も含まれていますが、どのくらい読めるか挑戦させてみてください。

2. 本文テーマ

第1課：ファストフードから各自の食生活について考える

第2課：地震が起きた場合の対処のしかたを知る

第3課：最近の子どもたちの実態を知る

第4課：日本のイメージについて考える

第5課：睡眠について考える

第6課：日本人の発明について知る

第7課：エコライフについて考える

第8課：日本人の会話の進め方について知る

第9課：日本の男女の仕事について知る

第10課：ことばの使い方について知る

3. 授業の流れ

学習者の能力・学習時間数などの諸事情により、授業の流れは多様です。ここでは2案ご紹介します。

【第一案】

初級では一般的に、まず文法を学び、会話につなげていきます。この方法に慣れている学習者にとっては、学習項目（文法）を先に学ぶ方が容易です。文法を学んだあと、習った文法がどのように文章の中で使われているか確認します。

【第二案】

本文のことばを学習したあと、内容を推測しながら本文を読み進めます。最初に内容を大きくとらえる方法です。本文の内容をある程度理解した後で、学習項目（文法）を学習します。

【第二部 各課の教え方のポイント】

第二部では、各課の「話しましょう」、「学習項目」と「練習」について、参考情報、発展活動などをご紹介します。

◇ は〈参考情報〉です。

★ は〈発展活動〉です。

第1課 ファストフード

1. 話しましょう

①イラストについて話す。場所はどこで、だれが何をしているのか。

②質問1に答える。

③質問2「いい点・悪い点」に記入し、発表する。

★食べ物について話し合う。

例：好きな食べ物・苦手な食べ物・料理をするかしないか・食べ物アレルギーがあるかどうかなど。

★いい点・悪い点を一人一文板書する。それぞれの意見について話し合う。あるいはグループでまとめ、他の人の文で気づきがあったら、話し合う。

2. 学習項目と練習

1. 【N₁といえば、N₂だ】

・ N₁の代表的な例N₂を表す。

◇ N₂は、N₁と聞いて、すぐに連想できる物や事柄。

◇ 話題の提供や、話の切り替え時に使用されることが多い。

1) 基本練習

2) 応用練習

◇ 自国の（代表的な・伝統的な・最も知られている）物（人・こと）について書く。

★ 発表する。

★ 他の学習者が書いた（発表した）内容について質問したり、感想を述べたりする。

3) 短作文

テーマ：「代表的な・伝統的な・最も知られている」物／人／場所／祭り

文型：～といえば、～です

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

◇イラスト・写真を利用するとわかりやすくなり楽しい。

★出身が同じ（学校・町・国）の人はグループでまとめて、「〇〇自慢」のような形式で発表することもできる。

2. 【も】

・数量を表す語と共に使われ、数量が多い（大きい）ことを評価する。

1) 基本練習

◇助数詞を再確認する。

2) 応用練習

★下の例のように会話を広げる。

例：（焼き鳥）

A：私は焼き鳥が大好きで、たいてい、一度に15本ぐらい食べます。

B：へえ、15本も食べるんですか。本当に好きなんですね。

A：ええ、毎日食べたいんですが、お金が……。

B：そうですね。食べ物の値段がだんだん高くなっていますからね。

3) 短作文

テーマ：お金の使い方

文型：Nにお金を～（金額）も使う

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

3. 【Nは～こと、～ことだ】

・理由・原因などを列挙する。

◇普段の会話より改まった言い方で、発表などで使われる。

◇接続は例文①「手軽に利用できること・時間がかからないこと」、例文②「交通が不便なこと・店が少ないこと」を使って確認する。

1) 基本練習

◇例（ファストフード）の文をよく見て、同じように文を作らせる。

★答えをチェックしたら、滑らかに読めるように練習する。暗唱できる学習者にはチャレンジさせる。

★その時の社会現象を話題として提示し、その理由や原因を考えさせる。

例：「紙の本が売れない」「自転車がブームになっている」

4. 【Vマス始める・Vマス終わる】

・動作やできごとの開始や終了を表す。

1) 基本練習

◇**A**は「Vマス始める」、**B**は「Vマス終わる」

2) 応用練習

★①は自分の国や町での変化を書く学習者がいる。これらについて質問し合ってもよい。

第2課 地震

1. 話しましょう

①イラストを見て、知っていることばで表現する。

②質問1・2に答える。

◇以下のようなインターネットサイトを見て、防災について調べておく。

- ・内閣府 防災情報のページ <http://www.bousai.go.jp>
- ・消防庁 防災マニュアル http://www.fdma.go.jp/bousai_manual/
- ・国土地理院 防災関連サイト <http://www.gsi.go.jp/bousai.html>
- ・NHK そなえる防災 <http://www.nhk.or.jp/sonae/>
- ・その他（各自治体、地域の防災サイトなど）

2. 学習項目と練習

1. 【～のでしょうか】

・疑問に思うことを丁寧に問いかける。

◇例文①は「～のでしょうか」の前に「い形容詞」が来る例、例文②は「な形容詞」が来る例。動詞については学習項目の練習1. 1) ③④。

1) 基本練習

◇これらの問いかけについて、先生が応答してもよい。その場合は各学校の防災教育に準じて回答する。

2) 短作文

テーマ：日本について不思議だということ

文型：～のでしょうか

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

★発表する。

★自国と比べる文章にしてもよい。

例：「どうして日本では電車に乗るとき、みんなきちんと並ぶのでしょうか。私の国ではだれも並びません。ですからとてもおもしろいと思います。」

2. 【「自動詞・他動詞」の整理】

1) 基本練習

◇語彙（動詞）は、本文テーマに沿った語彙で、既習のものを使用する。

◇助詞との組み合わせは基本的なもの。「を」＋他動詞・「が」＋自動詞。

2) 基本練習

◇語彙（動詞）は1) 基本練習で既出のもの。正しい形にして（ ）に入れる。

3. 【V（よ）うとしても、Vナイない】

・動作を実現しようと努力するが、実現していないことを表す。

◇特定の状況での文型。3. 1) 基本練習のようにイラストがあると、理解に役立つ。

◇自動詞・他動詞については、「2. 「自動詞・他動詞」の整理」で復習しているので、この学習項目のポイントは自動詞・他動詞の使い分けよりも、状況の理解にある。

1) 基本練習

◇例文を見て動詞（自動詞・他動詞）を確認後、練習する。

◇①閉める・閉まる ②つける・つく ③入れる・入る

4. 【～のは～だ】

・後件で言いたいことを述べる。

◇初級では、例：「漢字を覚えること（の）は難しいです」の型を学んだ。本課では「難しいのは漢字を覚えることです」の型を学ぶ。

◇この文型を使うことで、文全体の主張が強まる。

◇例文①②③を使い、接続を丁寧に確認する。

1) 基本練習

★滑らかに読めるように練習する。

2) 応用練習

★発表する。

★他の人の困っていること、寂しいと思っていること、うれしかったことについて知り、同じような思いや経験があったら話し合う。

3) 短作文

テーマ：日本の生活

文型：～のは～です

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

★発表する。

★上記2) 応用練習同様、感想を話し合う。

5. 【「自動詞—ている・他動詞—てある／ておく」の整理】

◇初級学習項目の復習。

1) 基本練習

◇ペアワークで練習する。

第3課 最近の子ども

1. 話しましょう

①イラストを見ながら、物の名前を確認する。

②学習者が子どもの時、これらを持っていたかなど、話し合う。

③質問1・2・3に答える。

2. 学習項目と練習

1. 【V [普通形] ようなN】

・例を表す。

◇例文①「着るような」、例文②「持っていたような」で動詞の普通形を確認する。

1) 基本練習

★②の「子どもの時、大人が読むような本が読みたかったです。」の型を使い、文を作る練習ができる。

例：子ども（中学生・高校生）の時、大人（親・先輩・～）が乗っている

ような
[マウンテンバイクが欲しかった。
[スポーツカーに乗りたかった。

2. 【Nばかり・V_テばかりいる】

- ・同じ物がたくさんある、同じことを何度もするという意味を表す。
マイナスの意味で使われることが多い。

1) 基本練習

★それぞれの文の後に、感想や意見をつけ加えさせてもよい。

例：①「この会社で働いているのは若い人ばかりです。でも、経験がある人も必要だと思います。」

3. 【Nを欲しがる・V_{マス}たがる・V_{マス}たがらない】

- ・第三者の願望を表す。
 - ◇初級「(私は)～が欲しい／～たい／～たくない」との違いを説明する。
 - ◇助詞が変わることに注意する。(Nが欲しい⇒Nを欲しがる)

1) 基本練習

2) 短作文

テーマ：人について

文型：Nを欲しがります・V_{マス}たがります・V_{マス}たがりません

手順：①テーマと使用文型を確認する。

② の語彙を確認し、例を読む。

③書く。

★発表する。

★お互いの考え方の同じ点・異なる点について話し合う。

4. 【ついV_テしまう】

- ・してはいけないと思っていることを無意識にしてしまう。
後悔の意味。

1) 基本練習

◇ の中から語を選び、て形に変えて記入する。

2) 短作文

テーマ：ついやってしまうこと

文型：ついV_テしまいます

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

◇自分の軽い失敗談などを話すことにより、他の人に親近感を持ってもらえる効果もある。

5. 【～(の)は～からだ】

・「～からだ」で「～(の)は」の理由を言う。

◇接続を確認する。例文①②は「動詞普通形のは～」、例文③は「な形容詞なのは～」。

◇例文③「日本の生活が大変なのは～」で前件の主語には助詞「が」を使用することを確認する。

1) 基本練習

◇助詞「は」が「が」になることに注意。

2) 短作文

テーマ：〔住んでいる所／通っている学校／使っているスマホ／他〕を選んだ理由

文型：～のは～からです

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

★発表する。

6. 【Nのようだ・Nのように (V/A/Na)・N1のようなN2】

・他の物にたとえる。

◇例文①は「N1のようなN2」。

例文②は「Nのようだ」。

例文③は「NのようにV」。

1) 基本練習

◇理由(～て／くて)を述べ、「Nのようです」とたとえる。

2) 基本練習

3) 基本練習

◇日本でよく知られているたとえであることを説明する。4)の短作文の例に③⑤の表現が使われている。

4) 短作文

テーマ：たとえる

文型：Nのようだ・Nのように (V/A/Na) / N1のようなN2

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読む。

③左の小さい四角にイラストを描き、文を書く。

★発表する。

★お互いの国のたとえの違いを知り、感想を述べ合う。

第4課 日本のイメージ

1. 話しましょう

①思考（連想）マップを作る。

・日本について持っているイメージを図で表す。

◇進め方 1) 本書1課の学習項目1「N₁といえば、N₂だ」を使い、教師が「日本といえば？」と学習者に連想をうながす。

2) 例2「町がきれいだ」から教師が「ごみが少ない」を右上につなげて書き、次に例1「アニメ」からどんなイメージが浮かぶか考えさせる。

3) 各自、連想を広げて、どんどん書く。

★グループでマップを作り、発表してもよい。

★書いたマップを見せ合い、意見を述べる。

2. 学習項目と練習

1. 【Vていく・Vてきた】

・Vていく：今を基準として、今後の推移、変化を表す。

Vてきた：今を基準として、以前から今までの推移、変化を表す。

◇よく一緒に使われる副詞・表現

Vていく：今後・これから

Vてきた：○年前から・最近・このごろ

◇本課では基準時が現在の「時間的用法」を扱う。「空間的用法」の「Vてくる・Vていく」は本書10課で取り上げている。

1) 基本練習

◇①④は「Vてきた」、②③は「Vていく」。

2) 基本練習

◇例1①④は「Vてきた」、例2②③は「Vていく」。

★学習者に自分の国や日本の「子どもの数」「外食する人の数」「家で料理を作らない人の数」などの今後の推移を予想させ、話させる。

2. 【[表／グラフ]で見ると、～ことがわかる】

◇「～」の部分には普通形が使われる。「N a だ」は「N a な」の形に。名詞の場合は「Nであることがわかる」になる。「Nである」は本書9課で扱っている。

1) 応用練習

- ◇「表」「グラフ」どちらも、日本に観光旅行に来た外国人へのアンケート結果。
- ◇語彙の確認後、自分が日本で買ったもの、したことを話し合う。
- ◇例を読み、表やグラフでわかったことを書く。

3. 【N₁のようなN₂】

・N₂の例をN₁で表す。

◇3課の学習項目「6. N₁のようなN₂」は他の物にたとえる用法。

1) 基本練習

◇④⑤のN₂は名詞修飾がある例。

4. 【XはYほど～ない】

・XもYも同じぐらい～だが、比べるとXはYよりは程度が低いことを表す。

◇XとYに極端な差がある場合は使わない。

1) 基本練習

◇①③は「～ほどN a じゃありません／ではありません。」文末の答え方はどちらでもよい。

2) 短作文

テーマ：子どもの時と今

文 型：XはYほど～ません

手 順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

★他のテーマでもよい。

例：「A町（例：東京）とB町（例：私の町）」「私の国の料理と日本の料理」など。

5. 【「比較」の整理】

◇学習項目の例文を読み、初級の比較文型を確認しておく。

1) 基本練習

◇比較の質問文での疑問詞の練習問題。

2) 応用練習

◇世界の山の高さの比較。

★①「世界で一番高い山はチョモランマです。」の単文で終わらずに、「世界で一番高い山はチョモランマで、高さは8,848mです。アジアの……」など、知っていることや、調べたことを追加表現できるとなおよい。

★世界の川の長さの比較なども可能。(この場合は資料が必要)

★学習者の国の山・川・町などの比較を発表させる。

第5課 睡眠

1. 話しましょう

①自分の睡眠についてアンケートの答えを記入する。

★他の学習者と比べる。

2. 学習項目と練習

1. 【A／Naさ】

・形容詞を名詞化して使う。

◇作り方を説明する。「いい」→「よさ」になることに注意する。

◇例文①は「い形容詞」(長さ)、例文②は「な形容詞」(便利さ)。

1) 応用練習

◇グラフの項目のことばを確認する。

◇各項目の満足度を線で表す。

2) 短作文

テーマ：今住んでいる部屋

文型：A／Naさ

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②1) 応用練習で作成した満足度のグラフについて作文を書く。

③例を読み、書く。

★発表する。

2. 【連用中止】

・動詞文やい形容詞文の接続のしかたの一つ。並列や理由を表す。

- ◇行為の順序、対立する内容を表す際にも使われる。
- ◇「作り方」や「使い方」の説明でよく使われる。
- ◇ここでは、な形容詞文は扱わない。
- ◇例文①は「動詞文」。例文②は「い形容詞文」。

1) 基本練習

- ◇①②③は動詞、④⑤は「い形容詞」の連用中止。

2) 短作文

テーマ：自動販売機の使い方／料理の作り方／A T Mの使い方／他

文 型：連用中止

手 順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

3. 【～ものだ】

・本来そうだと思われることを表す。

- ◇例文①は動詞「Vルものだ」。例文②は、な形容詞「N a なのだ」。

1) 基本練習

- ◇①②は動詞「Vルものだ」。③は動詞「Vナイないものだ」。④は「い形容詞」、⑤は「な形容詞」。

2) 応用練習

★発表する。

4. 【「もの・こと」の整理】

1) 基本練習

- ◇初級文型「趣味（夢）はVルことだ」「NはVルもの（物）だ」「Vタことがある」と、本課で扱っている「～ものだ」の整理。

- ◇⑤が本課の学習項目。

2) 応用練習

★発表する。

5. 【～ということだ】

・伝聞表現

- ◇初級では「～そうです」「～と言っていました」を学習。
- ◇「～ということだ／です」はやや硬い伝聞表現なので、仲間内の会話より改まった場で使われる。

1) 基本練習

2) 短作文

テーマ：友だちの国の習慣や、してはいけないこと

文 型：～ということです

手 順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読む。

③友だちにインタビューする。

④書く。

★発表する。

6. 【長い文の練習】

- ◇名詞修飾をはじめ、複合文型の文は長いものが多い。これらは学習者の負担が大きいため、ここでは内容を理解し、型に慣れ、滑らかに音読できればよい。

1) 基本練習

◇**A**は「名詞修飾」の文。

Bは「～たり、～たりして、名詞修飾+人が多くなっています。」

Cは「～ことや、～が原因で、～（連用中止）、体の不調を訴える人が増えています。」

第6課 日本人の発明

1. 話しましょう

①イラストの物の名前を確認。知っていることを話し合う。

②質問1・2に答える。

- ◇学習者は自国の発明品を知らないことも多いので、インターネットなどで調べさせても良い。

★世界的に有名な発明について発表させる。

2. 学習項目と練習

1. 【Nによって [受身]】

- ・何かを生み出す意味の動詞を受身で用いる時、その行為者を「Nによって」で表す。
 - ◇動詞は「書く・作る・建てる・発明する・発見する・開発する」など創造や発見を表すものが使われる。

1) 基本練習

- ◇下の例のように、学習者同士で一方が辞書形で言い、もう一方が受身形で言うといった練習もできる。
 - 例：学習者A：「書く」
学習者B：「書かれる」
- ◇単純な練習も、「ノートにきちんと書く・書いたものを正しく読む・他の人から問題を出してもらう・その答えを言う」など形を変えれば、練習の回数を増やせる。

2) 基本練習

- ◇「Nによって」を使って受身文を作る練習。
- ★「Nによって [受身]」を使って、自国の（世界の）有名な物について発表する。
 - 例：「私の国で有名なこの建物は××氏によって（〇〇年に）建てられました。」

2. 【～ため（に）】

- ・原因／理由を表す。
 - ◇「～ため（に）」の目的を表す用法は初級で学習済み。本課では原因／理由を表す用法を学習する。
 - ◇原因／理由の「～ため（に）」の後ろには無意志的表現が来る。
 - 例：「事故のために（原因）、電車が止まっている（無意志的表現）。」

1) 基本練習

- ◇接続の形に気をつけ、適当な形にして文を完成する。

2) 応用練習

- ◇例文「台風で新幹線が止まってしまったため、～」にあるように、従属節「～ため（に）」の中の主語は「が」で受ける。誤って「は」を使って主語を表す学習者がいるので注意が必要。

3) 短作文

テーマ：後悔していること／困っていること／残念なこと

文 型：～ため（に）

手 順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

★発表する。

3. 【「～ため（に）」の整理 [原因／理由・目的]】

◇初級で学習した目的を表す「～ために」と、本課の原因／理由を表す「～ため（に）」を整理し、学習する。

1) 基本練習

◇本課で学習した（原因／理由）を表す用法は②④⑤。

2) 応用練習

◇①は原因／理由を表す用法、②は目的を表す用法。

4. 【～まま】

・同じ状態が変わらずに続くことを表す。

1) 基本練習

◇手順：①イラストを見る。

②装着動詞「ネクタイをする・スリッパをはく」を確認する。

③例を確認し、書く。

◇④の2枚の写真からは「10年前のまま」「昔のまま」「若い時のまま」などさまざまな表現が考えられる。「山田さんは今もきれいなままだ。」といった答えも正解としてよい。

2) 短作文

テーマ：失敗したこと

文 型：～まま

手 順：①テーマと使用文型を確認する。

②□の中の文を確認する。他にあれば発表させる。

③例を読み、書く。

★発表する。

第7課 リサイクルとフリーマーケット

1. 話しましょう

①イラストを見て、何をしているか話し合う。

②質問1・2に答える。

★「エコ／エコライフ」や3R「Reduce／Reuse／Recycle」ということばを紹介し、これらについて話し合う。

参考：Reduce（リデュース）＝廃棄物の発生抑止

Reuse（リユース）＝再使用

Recycle（リサイクル）＝再資源化

2. 学習項目と練習

1. 【Vタものだ】

・過去の状態やよく起こったことを思い出して言う時の表現。

◇「以前は」「昔は」「〇〇時代は」「子どもの時」などと共に使うことが多い。

1) 基本練習

2) 短作文

テーマ：子どもの頃、よくしたこと

文型：Vタものだ

手順：①テーマと使用文型を確認する。

② の語彙を確認する。（ ）に入りたい言葉があるかどうか聞く。

③例を読み、書く。

★発表する。

★内容について話し合う。

2. 【～として】

・立場・資格・種類をはっきり表す。

1) 基本練習

★自国の名所や名物、有名人について話し合う。

2) 応用練習

★複文の練習もできる。

例：「(たけし)は(お笑い芸人)として有名だが、(映画監督)としても評価されている。」

3. 【～といっても】

- ・実際は～から考えられるものとは違う。
 - ◇な形容詞と、名詞の後の「だ」は使う場合も使わない場合もある。

1) 基本練習

2) 応用練習

- ★ペアで暗記し、さらにやり取りを加えて発表する。

4. 【V₁よりV₂ほうが～】

- ・2つの行為を比較する表現。
 - ◇基準を表す語のあとに「より」をつける。
 - ◇初級では「N₁はN₂より～」、「Nのほうが～」を学習した。
 - ◇本課では動詞の辞書形を使った比較を学習する。

1) 基本練習

- ★①～④について、同意見か反対意見か話し合う。
 - 例：「私は、スポーツは見るよりするほうがおもしろいと思いますが、みなさんはどう思いますか。」

2) 短作文

テーマ：どちらが [いい・楽しい・簡単・大変・()]

文型：V₁よりV₂ほうが～

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

5. 【～なら】

- ・相手の言ったことや自分で考えたことを主題として取り上げ、それについて意見や判断を伝える時に使う。
 - ◇前提となる状況があることを学習者に説明する。

1) 基本練習

- ◇例の文について、二人の人物を考えさせる。Aが「郵便局へ行く」と言う。Bはそれを聞き、切手を買って来てもらおうと考え、依頼する。このABの関係性を説明する。

2) 応用練習

6. 【なら・と・ば・たら】の整理

◇例文②③④は初級で学習済みであることを確かめる。それから①の「物を買うなら、～」は練習5. で勉強したことを再確認する。

1) 基本練習

◇前提となる状況がある「～なら」を使うのは②④⑤。

2) 基本練習

◇接続の形に気をつける。

◇前提となる状況があるのは③。

7. 【V_テ欲しい・V_{ナイ}ないで欲しい】

・要望を表す。

◇例文の接続と意味を確認する。

1) 基本練習

★実際の要望を書かせてもよい。

★「(人) に、『～て欲しい・～ないで欲しい』と言った／言われた。」という文も作れる。自分が他の人に言ったこと、人から言われたことを書く。

例：「ホームステイをしている家の人に「帰りが遅くなる時は必ず連絡して欲しい。」と言われた。」

第8課 あいづち

1. 話しましょう

- ①「あいづち」ということばを確認する。
- ②イラストを見て、わかったことを話す。
- ③質問1・2に答える。

2. 学習項目と練習

1. 【～あいだ・～あいだに】

・「～あいだ」 = ～の期間、ずっと／何回も、ある動作が行われる。

「～あいだに」 = ～の期間に1回の動作やできごとが成立する。

どちらも後件には過去時制も使える。

◇接続：「V_ル」は状態動詞（例：いる）、「V_{テイル}」（例：聞いている）は動作動詞をこの形で使う。主節が過去時制でも、従属節の形は「V_タあいだ（に）」にはならない。

1) 基本練習

◇Aは「～あいだ、～」、Bは「～あいだに、～」。後件を選ぶ問題。

2) 基本練習

3) 応用練習

★自分が日本にいるあいだに一度してみたいことを話す。

2. 【～わけではない】

・部分否定を表し、「全部、いつも」などの副詞とともに使われることが多い。また、直前のことから当然予想されることを婉曲的に否定するのにも用いられる。

◇例文①は100%という数字を部分的に否定している。

◇例文②は日曜日だから暇だろうとの予想を否定している。

1) 基本練習

◇「いつも込んでいる」から予想されることを否定する、「わけではない」の使い方の練習。

◇①「とても有名なわけではない」となり、「有名」の程度を部分否定する。

2) 応用練習

3. 【Vル/Vナイないことがある】

・時々/たまにそういう場合がある/ない。

◇助詞「も」を使い、「～こともあるし、～」という使い方もする。

1) 基本練習

◇助詞「も」を使用し、文を列挙している。

◇一文が長いので、なめらかに読めるように練習する。

★外国の習慣について、各自が気づいていることを話し合う。

2) 応用練習

◇「(たいてい・いつも)～ているが、たまにVル/Vナイないことが/もある」を使って書く練習。

4. 【V₁ルまで、V₂】

・V₁の動作が実現するまで、V₂の動作をずっと続ける/V₂の状態が続く。

1) 基本練習

◇□の中のことばを確認、辞書形にして記入する。例を見て確認。

2) 応用練習

5. 【Nによって】

・状況に応じて変わることを表す。

◇文末には「違う」「さまざま」などが使われる。

1) 応用練習

★発表する。

2) 短作文

テーマ：料理の味／考え方／習慣／挨拶のしかた／他

文型：～によって

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②例を読み、書く。

★発表する。

6. 【「Nとして・Nについて・Nによって」の整理】

◇「Nとして」は7課で立場・種類・資格をはっきり表す用法を学習済み。

◇「Nについて」は初級で学習済み。

◇「Nによって」は

6課：「日本人の発明」で創造・発見を表す無生物主語の受身文での用法を学習済み。
本課：状況に応じて変わることを表す用法を学習。

1) 基本練習

2) 応用練習

◇例を読み、書く。

★発表する。

★さまざまな内容の文が作れるので、他の人の文を聞いて、感想を述べ合う。

第9課 男の仕事・女の仕事

1. 話しましょう

①イラストを見て、仕事の名称を確認する。

②質問1・2に答える。

2. 学習項目と練習

1. 【～にもなって】

・一方の変化とともに他方も変わることを表す。

◇本課の中では扱っていないが、主節の終わりに推量表現も使える。

例：「～にもなって、～ていくでしょう」

1) 応用練習

◇後件を書く。

2) 応用練習

◇前件を書く。

★1) 2) 練習問題文それぞれについて、意見交換をする。

2. 【接続詞 [つまり・一方]】

つまり：前の表現・内容をわかりやすく言いかえる、まとめる。

一方：前の文の内容に対立する内容を導く。

◇例文②は何と何を対比しているか気づかせる。

1) 基本練習 [つまり]

◇□の中の文 b～d は、練習問題文①～③の内容をまとめた形。正しいものを選択する。

2) 基本練習 [つまり]

◇親族名称を確認する。「めい・おい」は新出語。

◇右上のイラストを見て、□に親族名称を、下線の箇所に文を書く。

3) 基本練習 [一方]

◇「一方」を使い、対比的な内容の文を書く。

3. 【Na/Nである】

・「Na/Nです」の書きことば。レポートを書く時に使う。

◇い形容詞、動詞は普通形を使う。

1) 基本練習

◇「Na/Nである」と普通形（動詞・い形容詞）を使って文を書く。

◇□の中の文は日本の国土と気候についての説明文。新しい語彙も多いので、意味と形をしっかり学習する。

2) 短作文

テーマ：私の国の気候

文型：Na/Nである・普通形（V・A）

手順：①テーマと使用文型を確認する。

②□の中のことばを確認する。

③1) の基本練習を参考にして書く。

★発表する。

4. 【使役受身】

- ◇動詞のグループ別に作り方を確認する。
- ◇Ⅰグループの動詞は短い形があるが、「話す」「出す」などの「す」で終わる動詞は短い形がないことを確認する。
- ◇Ⅱグループ、Ⅲグループも短い形はない。

1) 基本練習

- ◇①～⑫に書く。
- ◇口頭でも変換練習をする。学習者同士で問題を出しあうと、練習が楽しくなる。
例：学習者A：「買う」
 学習者B：「買わせられる／買わされる」

2) 基本練習

- ◇この練習がしっかりできていれば、次の3) 短作文に取り組みやすい。

3) 短作文

テーマ：あなたは子どもの時、どんなことをさせられましたか。

文 型：使役受身

手 順：①テーマと使用文型を確認する。

 ②例を読み、内容を確認する。

 ③自分の経験を書く。

★発表する。

5. 【「受身・使役・使役受身」の整理】

- ◇例文の①②③の意味と動詞の形（受身・使役・使役受身）を確認する。

1) 基本練習

- ◇受身の形と使役の形、本課の使役受身の形を並べて学習する。

2) 基本練習

3) 基本練習

- ◇一文ずつ、丁寧に確認しながら学習する。
- ◇「受身・使役・使役受身」の学習では、誰が行為者で誰がその行為を受ける人か
 まちがえやすい。

6. 【Vㇿ欲しいものだ】

- ・ 公的な場で要望・願望を伝える時に使う。
 - ◇ 新聞の中の意見文などで使われることが多い。
 - ◇ 個人に直接、何かを要求しているのではない。

1) 基本練習

- ★ この練習のテーマ「ごみ・ボランティア活動・育児休暇」について考えて意見を言う。
- ★ 余裕があり、問題意識を持った学習者から意見（提言）を引き出せそうな場合は、それを発表させる。

2) 基本練習

- ◇ 「ものだ」の整理
 - ①の「ものだ」は初級で学習した、物体を表す「もの（物）」。
 - ②の「ものだ」は5課：本来そうだと思うことを表す用法。
 - ③の「ものだ」は7課：過去の状態やよく起こったことを思いだして言う時の用法。
 - ④の「ものだ」は本課：公的な場で要望・願望を伝えるときに使う用法。

第10課 ことばの使い方

1. 話しましょう

- ①「敬語」という言葉を知っているか確認し、どんなことか話しあう。
- ②質問1・2に答える。
 - ★ 質問1・2で出た答えについて話し合う。

2. 学習項目と練習

1. 【Nによって】

- ◇ 手段・方法。書きことばとして使われる。

1) 基本練習

- ◇ 内容を理解したら、読む練習をする。

2) 基本練習

- ◇ 「～によって」の整理
 - ①の「～によって」は8課：状況に応じて変わることを表す用法。
 - ②の「～によって」は6課：何かを生み出す意味の動詞を受身で用いる時、その行為者を表す用法。
 - ③の「～によって」は本課：手段・方法を表す書きことばとして使われる用法。

2. 【Vル／Nの代わりに】

・ Vしないで、他のことをする。

N（人や物）ではなく他の（人や物）。

1) 基本練習

◇例1は「Vル代わりに」、例2は「Nの代わりに」。

◇文が長くなるので、滑らかに読む練習もする。

3. 【Vてくる・Vていく】

・ Vてくる：Vの方向が話し手の位置に向かっている。（例文①）

Vていく：Vの方向が話し手から離れていく。（例文②）

◇動作の方向をイラストで確認する。

1) 基本練習

2) 基本練習

◇イラストを見て動作の方向性を確認し、「Vてくる」「Vていく」を選ぶ。

◇⑤の状況理解が難しい学習者がいたら、人工衛星の写真やイラストを使ってみるとよい。

4. 【Vルべきだ】

・ 社会の中で一般的に妥当・当然だとされることを表す。

◇動詞「～する」は「～するべきだ」「～すべきだ」2通りの形になる。

1) 基本練習

5. 【「敬語」の整理】

◇初級で学習した敬語のうち、使用頻度の高い特殊敬語（「召し上がる」「いただく」など）は定着が比較的容易。

◇「お（ご）～になる」「お（ご）～する」は行為者が誰であるかまちがえやすい。

1) 基本練習

◇□の中の敬語を確認し、①～⑩に記入する。

2) 基本練習

6. 【Vナィずに】

・～ないで

◇少し硬い言い方。

◇「する」は「しずに」ではなく「せずに」になる。例文①では「気にせずに」。

1) 基本練習

◇「模範的な学生」と「困った学生」についての作文。

★学習者の自分の様子や経験を聞いてみるのもよい。

2) 応用練習

★短冊を用意して、壁に貼ると楽しい活動になる。

例：

忘れずに、宿題をしよう

休まずに、たくさん飲もう (○△ビール)

【巻末資料】

本文の「ことば」掲載語の既習・未習情報

みんな初 … 『みんなの日本語初級（第2版）』で既習の語

… 『みんなの日本語初級（第2版）』または、『中級へ行こう（第2版）』の以前の課で既習の語

課	ことば	初出
第1課	ファストフード	話しましょう
	メニュー	本文
	代表的な（だいひょうてきな）	本文
	ハンバーガー	本文
	フライドポテト	本文
	最近（さいきん）	みんな初（21課）
	牛丼（ぎゅうどん）	みんな初（13課）
	スープ	本文
	種類（しゅるい）	本文
	ある《+N》	みんな初（42課）
	発表（はっぴょう）	みんな初（31課）
	～兆円（～ちようえん）	本文
	理由（りゆう）	本文
	値段（ねだん）	みんな初（28課）
	手軽に（てがるに）	本文
	利用する（りようする）	みんな初（49課）
	しかし	本文
	このような	本文
	カロリー	本文
	生活習慣病（せいかつしゅうかんびょう）	本文
増える（ふえる）	みんな初（43課）	
健康（けんこう）	みんな初（38課）	
増やす（ふやす）	本文	
表示する（ひょうじする）	本文	
第2課	起きる〔地震が～〕（おきる〔じしんが～〕）	みんな初（44課）
	ストーブ	本文
	ガスコンロ	本文
	揺れ（ゆれ）	本文
	おさまる〔揺れが～〕（ゆれが～）	本文
	慌てる（あわてる）	本文
	食料（しょくりょう）	本文
	背が高い（せがたかい）	みんな初（16, 8課）
	家具（かぐ）	みんな初（27課）
	その他（そのほか）	本文
	万（まんいち）	本文
	連絡方法（れんらくほうほう）	本文
	避難場所（ひなんばしょ）	本文
	決める（きめる）	みんな初（30課）
	第3課	最近（さいきん）
携帯電話（けいたいでんわ）		本文
スマートフォン（スマホ）		本文
調査（ちょうさ）		本文
小学生（しょうがくせい）		本文
%（パーセント）		本文
中学生（ちゅうがくせい）		本文
専用（せんよう）		本文
タブレット		本文
大人（おとな）		本文
ブランド		本文
見かける（みかける）		本文
これら		本文
かかる〔お金が～〕（おかねが～）		みんな初（11課）
高価な（こうかな）		本文
親（おや）		話しましょう
数（かず）		本文
年々（ねんねん）		本文
減る（へる）		みんな初（43課）
王様（おうさま）		本文

*背（16課）高い（8課）

課	ことば	初出	
第4課	訪れる (おとずれる)	本文	*外国 (11課) ~人 (1課)
	外国人 (がいこくじん)	みんな初 (11,1課)	
	旅行者 (りょこうしゃ)	本文	
	数 (かず)	3課 (本文)	
	年々 (ねんねん)	3課 (本文)	
	実際に (じっさいに)	本文	
	来日する (らいにちする)	本文	
	海外 (かいがい)	みんな初 (35課)	
	持つ [イメージを~] (もつ)	本文	
	表 (ひょう)	本文	
	人々 (ひとびと)	本文	
	礼儀 (れいぎ)	本文	
	正しい (ただしい)	本文	
	ポイント	本文	
	~に加えて (~にくわえて)	本文	
	第~位 (だい~い)	本文	
	サービス	みんな初 (16課)	
	おもてなしの心 (おもてなしのこころ)	本文	
	選ぶ (えらぶ)	みんな初 (28課)	
	都市 (とし)	本文	
	景観 (けいかん)	本文	
	美しい (うつくしい)	みんな初 (37課)	
	ユネスコ無形文化遺産 (ユネスコむけいぶんかいさん)	本文	
登録する (とうろくする)	本文		
今後 (こんご)	本文		
第5課	睡眠 (すいみん)	話しましょう	*訳は「礼儀正しい」で1語としています
	夜中 (よなか)	本文	
	覚める [目が~] (さめる [めが~])	本文	
	遅くまで (おそくまで)	本文	
	活動する (かつどうする)	本文	
	通勤 (つうきん)	本文	
	減少する (げんしょうする)	本文	
	不調 (ふちょう)	本文	
	訴える [不調を~] (うったえる [ふちょうを~])	本文	
	自然に (しぜんに)	本文	
	昼間 (ひるま)	本文	
	十分に (じゅうぶんに)	みんな初 (32課)	
	動かす (うごかす)	本文	
	~に関して (~にかんして)	本文	
神経質な (しんけいしつな)	本文		
第6課	胃カメラ (いカメラ)	本文	
	乾電池 (かんでんち)	本文	
	サインペン	本文	
	せんす	本文	
	インスタントコーヒー	本文	
	当時 (とうじ)	本文	
	注目する (ちゅうもくする)	本文	
	特許 (とっきょ)	本文	
	取る [特許を~] (とる [とっきょを~])	本文	
	別の (べつのも)	本文	
第7課	フリーマーケット	みんな初 (26課)	
	温暖化 (おんだんか)	本文	
	砂漠化 (さばくか)	本文	
	自分たち (じぶんたち)	本文	
	守る (まもる)	本文	
	~というN	本文	
	意識 (いしき)	本文	
	生まれる [意識が~] (うまれる [いしきが~])	本文	
	以前 (いぜん)	本文	
	考え (かんがえ)	本文	
	このような	1課 (本文)	
	リサイクル運動 (リサイクルうんどう)	本文	
	~のだ (=~んです (説明))	本文	
	十分 (じゅうぶん)	本文	
	市町村 (しちょうそん)	本文	
	リサイクルする	みんな初 (33課)	
~と呼びかける (~とよびかける)	本文		

課	ことば	初出
第8課	あいづち	話しましょう
	相手 (あいて)	みんな初 (47課)
	うなづく	本文
	伝える (つたえる)	みんな初 (33課)
	合図 (あいず)	本文
	だから (=ですから)	本文
	賛成する (さんせいする)	本文
	不安な (ふあんな)	本文
	確かめる (たしかめる)	みんな初 (40課)
	誤解する (ごかいする)	本文
	黙る (だまる)	本文
	打つ [あいづちを~] (うつ)	本文
	さまざま	本文
	第9課	以前 (いぜん)
女性 (じょせい)		本文
職場 (しょくば)		本文
男性 (だんせい)		本文
表す (あらわす)		3課 (学習項目の練習)
看護婦 (かんごふ)		本文
保母 (ほぼ)		本文
職業 (しょくぎょう)		本文
名称 (めいしょう)		本文
看護師 (かんごし)		本文
保育士 (ほいくし)		本文
建築 (けんちく)		本文
運転手 (うんでんしゅ)		本文
車掌 (しゃしょう)		本文
男女 (だんじょ)		本文
区別 (くべつ)		本文
家庭 (かてい)		8課 (学習項目の練習)
向ける [目を~] (むける [めを~])		本文
家事 (かじ)		本文
労働 (ろうどう)		本文
~程度 (~ていど)		本文
調査結果 (ちょうさけっか)		本文
AではなくB		本文
すすんで		本文
分担する (ぶんたんする)		本文
共働き (ともばたらき)		本文
第10課		調査 (ちょうさ)
	乱れる (みだれる)	本文
	感じる (かんじる)	本文
	特に (とくに)	みんな初 (18課)
	敬語 (けいご)	話しましょう
	場 [食事の~] (ば [しょくじの~])	本文
	訪ねる (たずねる)	8課 (学習項目の練習)
	本来 (ほんらい)	本文
	変化する (へんかする)	本文
	気にする (きにする)	本文
	この機会に (このきかいに)	本文